

目次

ご利用前に

安全上のご注意	2～4
各部の名称	5
使える容器・使えない容器	6
据え付けについて	7
加熱のしくみ	8
角皿の使い方	8

使い方について

ご使用前の準備	9
空焼き(脱臭)をする	9
電源の入れかた	10
操作の取り消しかた	10
加熱の停止/再開方法	10
加熱の終了	10
ご使用地域ごとの出力	10
手動あたため操作	11
自動メニュー設定	12～15
オーブン機能	16～17
グリル機能	18
解凍	18～19
加熱時の注意ポイント	19
加熱時間の目安	20～21

お手入れについて

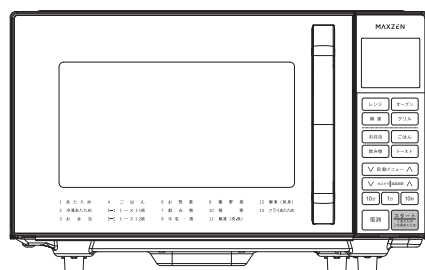
お手入れの方法	22～23
お手入れ後の安全点検	23

その他

電源周波数と地域について	23
故障かな?と思ったら	24
仕様	25
修理やサービスのご依頼をいただく前に	25
アフターサービス	26
保証書/保証規定	27

16Lオーブンレンジ 家庭用 MJMO16GZ01F-WH/BK

取扱説明書



この度は、MAXZEN 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。ご使用の前に本書の「安全上のご注意」など重要な安全に関する説明を注意深く読み、この取扱説明書は今後の参照のためいつでも見ることができる場所に保管してください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

安全上のご注意

本製品の性能を十分に発揮させ、安全にご利用いただくためにも、「安全上のご注意」をお読みになってから、取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示の説明



警告

「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。



注意

「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明



中の絵と近くの文で、してはいけないこと(禁止)を示します。



中の絵と近くの文で、しなければならないこと(指示)を示します。

※重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
※損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。



警告

据え付け



水場での
使用禁止

- 水のかかりやすい場所や、浴室等湿気が多い場所に置かない。
漏電による火災や感電の原因となります。



指示

- 周囲はすき間をあける。
- 転倒防止の処置をしてください。
地震などの振動により転倒し、けがの原因になります。
- 床が丈夫で水平な場所に据え付けてください。

電源プラグ・コード

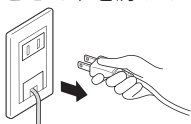
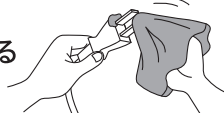


禁止

- 傷んだ電源コード・電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わない。
- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししない。
- 海外や定格周波数以外では使わない。
AC100V電源専用。
- 電源コードを傷つけない。
 - ・破損させない。
 - ・加工しない。
 - ・引っぱったり、無理に曲げたりしない。
 - ・ねじったり、束ねたりしない。
 - ・重いものを載せたりしない。
 - ・金属のものに引っ掛けたりしない。
 - ・熱器具に近づけない。
 - ・本体背面で押し付けない。



指示

- 電源は交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う。
(延長コード・電源タップ・タコ足配線などの状態で使用しない。)
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
- 電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く。
- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- 電源プラグの刃と刃の取り付け面に付いたホコリは、定期的に乾いた布でよくふき取る。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 危険



禁止

- 吸気口・排気口など製品のすき間に針金やピンなど金属製のものや指、異物などを入れない。
火災、感電、けがの原因となります。

⚠ 警告



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない。
火災・感電・けがの原因になります。
メーカー指定の資格を有する修理技術者以外が、マイクロ波エネルギーにさらされないように、取り付けたカバーを取り外すことが必要な、いかなる保守又は、修理は危険であるため行わないでください。
修理はお買い上げの販売店またはマクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。

電源プラグ・コード



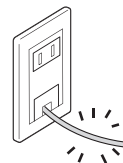
プラグを
抜く

- 長期間使用しない場合は電源プラグを抜いておく。
絶縁劣化による、感電・漏電の原因となります。



アース線
取り付け

- アース線を取り付ける。
アース線の工事については必ず販売店にご依頼ください。(工事費用は本体価格に含まれません)



もしもの時は？



プラグを
抜く

- 異常・故障時は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く。
お買い上げの販売店 または マクスゼンテクニカルセンターに ご連絡ください。

■異常・故障例

- ・運転中に異常な音がする、焦げくさい
- ・電源プラグ、電源コードが異常に熱い
- ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ・運転中 時々電源が切れる
- ・触れるとビリビリ電気を感じる

ご使用の際



指示

- 一般家庭用の製品です。通常の使用以外の目的や業務での使用はしない
火災、感電、けがの原因となります。
- 屋外で使用しない
- 使用する前に梱包材はすべて取り除く
包装用ポリ袋は、幼児の手の届かない場所で保管するか破棄する
火災、感電、けがの原因となります。
かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。



指示

- 吸気口、排気口をふさいだり、布やカバーをかけたりしない。
故障の原因となります。
- ビンのフタや栓ははずし、殻や膜のあるものは、割れ目や切れ目を入れる。
容器などが割れ、けが・やけどの恐れがあります。

ご利用前に

使い方について

お手入れについて

その他

安全上のご注意(つづき)



警告

ご使用の際



禁止

- 調理中は そばを離れない
- 調理中に電源プラグの抜き差しをしない。
火災、感電の原因となります。
- 子供など取り扱いに不慣れな人だけで
使わせたり、幼児に触らせたりしない。
感電、やけど・けがの原因となります。
- ドア又は(電子レンジ)庫内とドアが接する
面に損傷、その他の異常や故障がある場合には、
メーカー指定の資格を有する技術者による修理
が完了するまで電子レンジを運転しない。
直ちに、マクスゼン テクニカルセンター (P18) へ
点検・修理の依頼をしてください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。
感電・やけど・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

- 本体に水をかけたり、水につけたりしない。
漏電やショートして火災、故障、感電の原因となります。



火気禁止

- 引火物やそれらが付いた物は、入れたり近
づけたりしない。
引火、爆発の恐れがあります。



禁止

- 破裂しやすいため、密閉された容器に液体
又はその他の食品を入れて加熱しないで
ください。《レンジ加熱時》



注意

ご使用の際



禁止

- 庫内が空のまま使用しない。《レンジ加熱時》
庫内やドアが高温になり、やけど、故障の原因となります。
- 熱に弱いものを近づけない。
たたみ、じゅうたん、テーブルクロスの上に置かない。
カーテンなど燃えやすいものや、可燃性スプレーなどを
近づけないでください。引火や破裂の原因となります。
- 本体の上に物を置かない。
加熱、焦げ、変形の恐れがあります。



禁止

- 卵はそのまま加熱しない。《レンジ加熱時》
破裂し危険です。卵は殻を取り除いて割ほぐすか、殻に穴を
あけてください。ゆで卵は作らない。切ったりほぐしてから温
めてください。ゆで卵のあたためなおしもしないでください。
- 食品や飲料は加熱しすぎない。《レンジ加熱時》
飲み物や油分の多い液体は、突然沸騰し、やけどの恐れがあり
ます。少量の食品は発煙・発火の恐れがあるので気を付ける。
- 金属容器・食器、金串は使用しない。《レンジ加熱時》
加熱や発火の原因となります。
- 電子レンジは食品及び飲み物の加熱を意図
しており、食品又は衣類の乾燥、及びカイロ
スリッパ、スポンジ、ぬ(濡)れ布巾等の加熱は
けが、発火及び火災の危険な状態を引き起こす
可能性がある為、絶対にしないでください。
- 金属製の容器や鉢は使用しない。《レンジ加熱時》
火花が出たり、ドアガラスが割れてけがのおそれがあります。
- 付属の角皿は使用しない。《レンジ加熱時》
火花が出たり、ドアガラスが割れてけがのおそれがあります。



高温注意

- 食品や食器を取り出すとき、ラップをはず
すときなど注意する。
高温になっていた、蒸気によりやけどのおそれがあります。



指示

- 本体が落下、転倒した場合、外部に損傷が
なくても使用しない。
感電や電波漏れの恐れがあります。
販売店にご相談ください。
- 袋入りの食品は袋から出す。《レンジ加熱時》
内部がアルミ箔のレトルト食品や真空パック済みの
食品などは、破裂、発火の恐れがあります。
- ドアの開閉時は指のはさみ込みに注意する。
けがの原因になります。

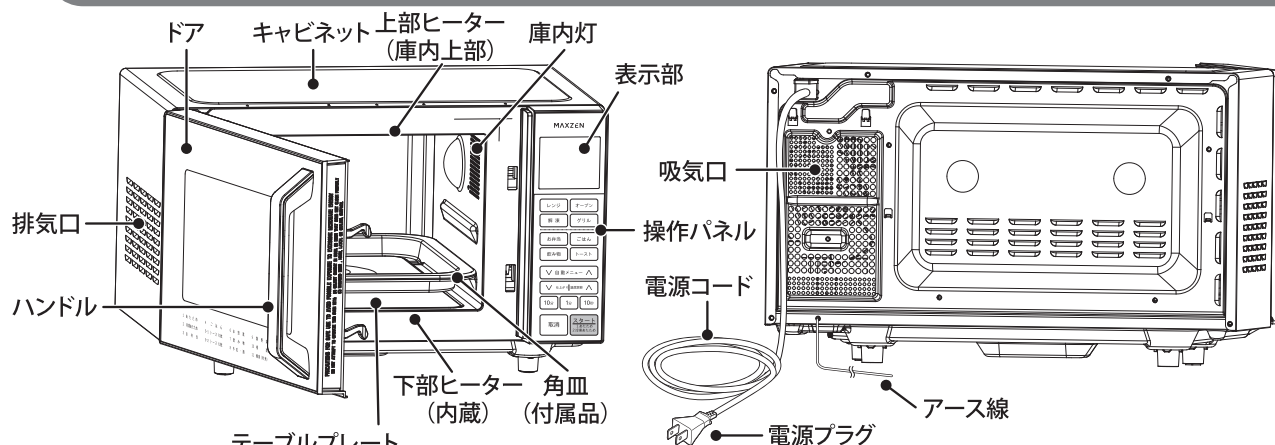


禁止

- ドアに無理な力を加えたり、物をはさんだ
まま使用しない。
電磁波漏れによる人体への被害や発火のおそれがあります。
- 庫内テーブルプレートに衝撃を加えたり、
熱を持った状態で冷水をかけない。
破損によるけがの原因となります。
- 加熱中や加熱後しばらくは高温のため庫内や
本体には触れない。(ドアハンドルや操作部は除く)
《オープン・グリル加熱時》
高温のためやけどのおそれがあります。
- 加熱後の角皿は、本体や熱に弱いものの上に
置かない。《オープン・グリル加熱時》
焦げ・変形の原因となります。
- 付属の角皿や容器を急に冷やさない。
加熱後、庫内にある角皿や容器を急に冷やさないでください。
また本体ドアに水をかけないでください。ヒビが入ったり、
割れたりするおそれがあります。

各部の名称

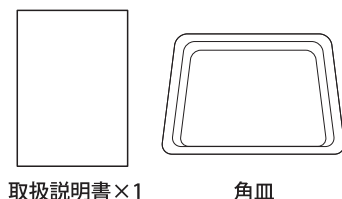
本体



テーブルプレート
テーブルプレートと庫内底面のすき間は
黒色のシリコン樹脂で密閉しています。
シリコン樹脂には多少の凹凸がありますが、
異常ではありません。

※イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

付属品



取扱説明書×1

角皿

お願い

- レンジをご使用になる場合庫内にアルミ箔やビニールなどを敷かないでください
正常に機能しなかったり故障の原因となります。
- 無線機器・ラジオ・テレビから4m以上離してください
雑音や画像の乱れなどの原因となります。

※ 破損したときは、お買い上げの販売店までご相談ください。

操作パネル

表示部

- 加熱時間、食品の重量、レンジ出力、温度、加熱の種類、仕上がりの状態などを表示します。
 - ドアを開けると電源が入り、表示部の「0」が点灯します。
- ※電源プラグをコンセントに差しただけでは、電源は入りません。

解凍ボタン

- 解凍モードにします。
- 解凍方法 (P18～19参照)

自動メニューワンタッチボタン

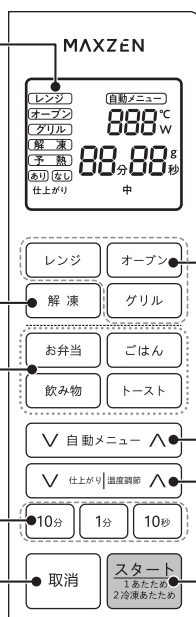
- お弁当・ごはん・飲み物・お酒をあたためる時に使用します。(P12～13参照)
- トーストを焼く時に使用します。(P13)

時間設定ボタン

- 加熱時間設定に使用します。

取り消しボタン

- 加熱の種類や押し間違えたとき、途中で加熱をとりけたいときに使用します。



- 調理中にドアを開けると一時中断され表示部の時間が止まります
- 何も操作しない状態が1分間続くと表示部が消灯します(電源OFF)

※ 破損したときは、お買い上げの販売店までご相談ください。

手動調理ボタン(レンジ・オープン・グリル)

- 調理に合わせて、手動で時間やレンジ出力、温度を設定するときに使用します。

自動メニュー選択ボタン(3.お弁当～13.フライあため)

- 12種類の自動メニューをV・Hボタンで選択できます。

仕上がり・温度ボタン

- 自動加熱の仕上がりを調整します。
V:弱め H:強め
- オープン、グリルの予熱と加熱温度を調整します。

スタートあたためボタン

- 加熱開始時に押します。調理の途中でドアを開けた場合に再び加熱をはじめるときは、ドアを閉めてもう1度押します。
- あたため機能使用時は以下のように切り替わります。(P12参照)
ボタンを1回押す:「1あたため」
ボタンを2回押す:「2冷凍あたため」

■ 自動電源OFF機能

何も操作しない状態が1分間続くと表示部が消灯し電源がOFFになります。

※操作の途中で何もしない状態が1分間続くと表示部に「0」が表示され待機状態になり、更に1分後電源がOFFになります。

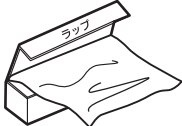
■ 保護機能

連続運転したり、水分量の少ない食材を加熱すると、過熱による故障を防ぐために保護機能が働き運転が自動停止する場合があります。保護機能が働いた場合はしばらくお待ちください。温度が下がり保護装置が解除されると再びご使用できます。

使える容器・使えない容器

！ 指示

- 調理中は電子レンジから目を離さない。
食品をプラスチック又は紙の容器に入れて加熱するときは、着火の可能性があるため電子レンジから目を離さないでください。発煙、発火のおそれのある食品を加熱する場合は、様子を見ながら加熱してください。
- フタ付きの容器（密閉容器）を使用する際は、フタを外して（ずらして）加熱する
加熱のし過ぎで発煙・発火の恐れがあります。
- プラスチック類は耐熱温度表示確かめてからご使用ください。
材質や耐熱温度のわからないプラスチック容器は使用しないでください。

容器の種類	レンジ加熱	ヒーター加熱
耐熱性のあるプラスチック容器  	 使える ● 電子レンジ使用可能の表記があり、耐熱温度が140℃以上の物。 ※油分の多い食品などは高温になるため使用しないでください。 ※ふた部分は耐熱になっていない容器もごございますのでご注意ください。	 一部使用可 ● シリコン容器などのオープン、トースト、グリル使用可能の表記がある物。 ※耐熱温度以下に限りご使用できます。
	 使えない ● 電子レンジ使用不可の表記がある物。 ● 耐熱温度の表示がない物。 ● 耐熱温度が140℃未満の物。 ※スチロール、ポリエチレン、メラミン、フェノール、ユリア樹脂などは使用しないでください。	 使えない ● オープン、トースト、グリル使用可能の表記がない物。 ● 耐熱温度の表示がない物。
耐熱性のある陶器・磁器  	 使える ● ココット皿、グラタン皿など ※急冷・急熱すると破損の恐れがあります。ご注意ください。	 一部使用可 ● 耐熱性のあるグラタン皿や陶磁器など。
	 使えない ● 色絵付け、ひび模様、金・銀の装飾のある物。 ● 素焼きの陶器、土鍋。 ● 吸水性の高い物。 ※器を傷めたり火花がでることがあります。	 使えない ● 耐熱性のない物。
耐熱性のあるガラス容器  	 使える ● 耐熱性のある物。 ※急冷・急熱すると破損の恐れがあります。ご注意ください。	 使える ● 耐熱性のある物。 ※急冷・急熱すると破損の恐れがあります。ご注意ください。
	 使えない ● 耐熱性のない物。 ● クリスタルガラス、カットガラス、強化ガラスなど	 使えない ● 耐熱性のない物。 ● クリスタルガラス、カットガラス、強化ガラスなど
ラップ類 	 使える ● 耐熱温度が140℃以上の物。 ※油分の多い料理や食品など高温になるもの使用しないでください。	 使えない ● ご使用できません。 ※溶けたり、燃えたりするので使用しないでください。
	 使えない ● 耐熱温度が140℃未満の物。	
金属・アルミホイル ホーロー製鍋 	 使えない ● ご使用できません。 ※電波を通さないものは原則的に使用できません。金属などは火花がでたりするので使えません。 ● 缶詰やレトルト容器（アルミ箔などを使用した容器）は別の容器に移しかえて加熱してください。 ※レトルト容器によっては電子レンジ対応のものもあります。食品容器の表示や指示に従って加熱してください。	 使える ● ご使用できます。 ※プラスチックの持ち手などが付いている場合は溶けるおそれがありますのでご使用にならないでください。
漆器・紙・木製 	 使えない ● ご使用できません。 ※漆器は漆がはげたりひび割れたりするので使用しない。紙や木、竹などもこげたり燃えたりするので使用しない。	 使える ● クッキングシートなど耐熱温度以下に限りご使用できます。
		 使えない ● 耐熱性のない物。

据え付けについて

据え付け場所

■ 周囲との間をあける

排気口や吸気口をふさがない。

■ 風通しをよくする

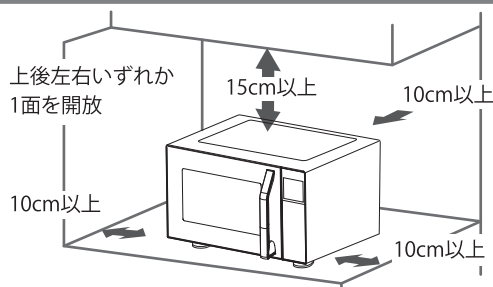
周囲は必ず隙間をあける。(右記参照)

風通しが悪いと吸気が十分に行われず、正常に作動しなくなることがあります。

■ テレビ・ラジオ・無線LAN機器から離す

テレビ・ラジオにノイズが入る場合があります。

無線LANの通信機能が低下する場合があります。



※後方がガラスの場合、20cm以上離してください。



注意

● 水平で安定した場所を使用する

不安定な場所で使用すると、落下・転倒してけがや火災の原因になります。

● 設置の際、上記図の距離を確保する

周囲とのすき間がない場所で使用すると、壁などが過熱して発火したり、放熱などによる壁の汚れ・変色、故障の恐れがあります。

● 水気・湿気の少ないところで使用する

感電・故障の恐れがあります。

● 耐熱性があるものの上に置く

火災の原因になります。



指示

● 壁や家具から離して設置する

発火・火災の原因になります。次のようなところへ設置しないでください。

・ラックや棚の中 ・熱に弱い家具や置台 ・本体の下に敷物などを敷かないでください。



禁止

● 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない

感電・やけど・けがの恐れがあります。

● 肩よりも高い位置に設置しない

食材を取り出すときに不安定になり、けが・やけどの原因になります。

※壁の材質などにより、排気口付近の壁が結露したり汚れることがあります。気になる場合は、上記図以上の距離を確保し、壁面にアルミホイルなどを貼ることをおすすめします。製品にはアルミホイルを貼らないでください。

アースの取り付け

■ アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください

カバー付きねじタイプ

つまみタイプ

■ アース端子付きのコンセントを使用する場合

アース線が本体のアース端子にしっかり接続していることを確認し、アース線先端の皮をむき、芯線をねじり束ねてコンセントのアース端子につなぐ。

■ アース端子がない場合

お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

アース工事(電気工事資格者によるD種設置工事)が必要な据え付け場所

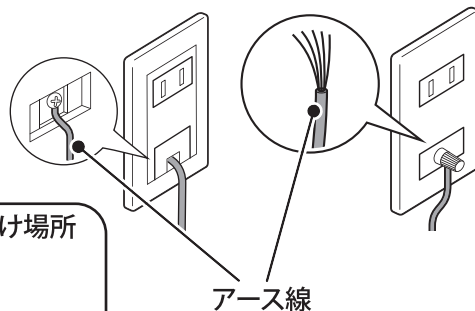
湿気の多い場所(土間、コンクリート床、地下室、醸造、貯蔵室など)、水気のある場所

水気が多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する

水気が多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

アース線を接続できないもの

水道管やガス管、電話機や避雷針などには絶対に接続しないでください。法令で禁止されています。



アース線



警告

● アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電することがあります。

アースの取り付け・取り外しのときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

アース線が外れたり、ゆるんでないか、定期的に確認してください。

加熱のしくみ

レンジ加熱

電波で食品を内側と外側から同時に加熱します。

- 電波の振動により食品内の水分が摩擦熱を発生させ内側と外側から加熱されます。
- 耐熱性のガラス容器や陶器なども電波が透過して加熱します。



注意

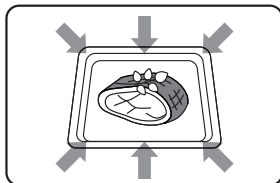
付属の角皿や金属類は絶対に使用しないでください。

- 火花が出て本製品を傷めるおそれがあります。

ヒーター加熱

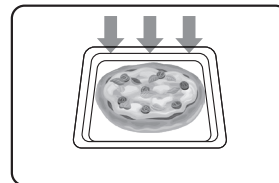
●オーブン加熱

温度センサーによりヒーターの加熱を調整して、設定した庫内温度で焼き上げます。



●グリル加熱

ヒーターで加熱し、食品表面に焼き色を付けたり、追加焼きをするときに使用します。



レンジ+ヒーター加熱

●電波とヒーターで交互に加熱

「フライあたため」メニュー P.15参照

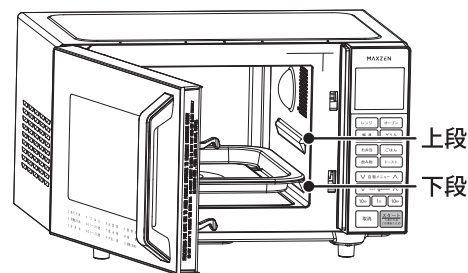
角皿の使い方

1 上段または下段の受け棚に、食品を乗せた角皿をのせる

※受け棚は角皿を2段セットしての調理はできません。

2 加熱後は角皿を取り出す

- 大変熱くなっておりますので、市販のミトンやふきんなどを使用して十分にやけどに注意して取り出してください。



使い方について

ご使用前の準備

1 7ページの「据え付けについて」にしたがって設置する

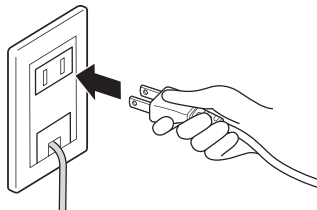
正しく設置してください。アースも忘れずに接続してください。

2 ドアを開けて、傷防止用のビニールシートを外す

ドア固定用のテープを外します。

ドアを開けて、付属品、傷防止用のビニールシート、梱包材を全て外します。

3 ドアを閉めて 電源プラグを差し込む



禁止

- ドアや庫内と接する面に損傷、その他の異常や故障がある場合には、メーカー指定の技術者による修理が完了するまで使用しない
直ちに、マクスゼンテクニカルセンター (P26) へ点検・修理の依頼をしてください。



注意

- 使用時に庫内が汚れていたり、水分がある場合はよくふき取る
発煙・発火の恐れがあります。

※ この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を用いることを意図していない。この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

空焼き(脱臭)をする



- 初めてご使用になる前に、油や匂いを取り除くために空焼きをしてください。
- 必ずグリルモードを使用してください。
- 庫内が高温になると、吸気口・排気口から匂いや煙がでます。換気扇などで換気をしてください。
- 油の焦げる匂いや煙がでますが異常ではありません。
- 庫内の匂いが気になる時や、オープン・グリルを長期間使用しなかったときなどは、お手入れをした後に、空焼きをしてください。

1 ドアを開けて何も入れずに閉める

※角皿は入れないでください。

2 「グリル」ボタンを押す

3 時間設定ボタン「10分」を押して時間を20分に設定する

4 「スタートあたため」ボタンを押す

- 庫内灯が点灯して、残り時間が表示され空焚きを開始します。

5 終了音が鳴り空焚きが終了します

- 終了音が鳴り庫内灯が消灯します。

※加熱終了後、ドアを開けないと約1分ごとにお知らせします。

約5分後、表示部が消灯して電源OFFになります。

- 加熱終了後は本体内部を冷却するためしばらくファンが回転します。電源プラグを抜かないでください。故障の原因となります。



注意

- 空焼きは連続して行わないでください。
- 空焼き後、庫内底面に汚れやしみなどが出る場合があります。庫内が冷めてからお手入れを行ってください。
- 空焼きをせずに食品の加熱を行ってしまった場合でも食品には影響はありません。
- 加熱中にドアを開けると一時停止します。約1分以内にドアを閉めて「スタートボタン」を押すと残り時間の加熱を再開します。何も操作しないで約1分経過すると表示部が消灯します。ドアを開けて表示部に「0」が表示され待機状態になっていることを確認し空焼きを再開してください。
- 続けて加熱する場合は、ドアを開けて庫内を冷ましてからご使用ください。

使い方について(つづき)

電源の入れかた

- ドアを開けると表示部に「0」が点灯し、待機状態になります。電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは、電源は入りません。
- ※何も操作しない状態で約1分後に操作が取り消されます。(表示部が消灯)
- ※無効な操作をするとブザーが2回鳴ってお知らせします。



操作の取り消しかた

- 操作中に「取消」を1回押すと、操作は取り消され待機状態になります。
- ※何も操作しない状態でも約1分後に操作が取り消されます。(待機状態)
- 更に何も操作しないと1分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

加熱の停止/再開方法

- 加熱中にドアを開けると、加熱が一時停止されます。ドアを閉めてもう一度「スタート」ボタンを押すと加熱が再開されます。
- 加熱中に「取消」を押すと加熱が終了します。

加熱の終了

- 加熱が終了したらドアを開けて食品を取り出してください。
- 加熱終了後に取り忘れがあると約1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間)
- ※全メニュー共通

ご使用地域ごとの出力

出力	50Hz地域	60Hz地域
あたため	500W	600W
	400W	500W
解凍	200W	200W

- 本製品は、電源周波数「50Hz」地域と「60Hz」地域のどちらの地域でもご使用いただけますが、ご使用になる地域によって出力が異なります。
 - ➡「電源周波数と地域について(23ページ)」
 - ➡「仕様(25ページ)」
- ご使用になる地域の電源周波数が不明のときは、お近くの電力会社営業所にお問い合わせください。

ご利用前に

使い方について

お手入れについて

その他

使い方について(つづき)

手動あたため操作(レンジ調理)

- 量が多いときは、適量に分けて加熱してください。
- ごはんやカレーなどは、平たく均一に1人前ずつ冷凍しておく、上手にあたためることができます。
- ラップの使い方については20～21ページを参照してください。
- ゆで野菜を作るときには20～21ページを参照してください。
- 少量を加熱するときは、時間設定を短めにして様子を見ながら加熱してください。
- 一度にあたためられる分量は80g～600gです。
- 食品を入れたときに7～8分目となる大きさの容器を使用してください。

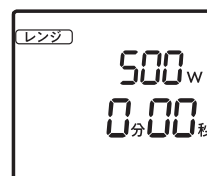
1 食品を容器に入れ、庫内テーブルプレートの中央に置いてドアを閉める

2 電子レンジ出力を設定する

- 「レンジ」ボタンを押すごとに表示部にワット数が表示され出力(W)を切り替えます。

※本製品は電源が50Hz 500W(東日本)と60Hz 600W(西日本)で高周波出力が異なります。
加熱時間はP.21「加熱時間の目安」をご確認ください。

※何も操作せずに約1分経過すると「0」表示に戻ります。
※食品の種類と分量により出力を切り替えてご使用ください



50Hz地域	500 → 400 → 200
60Hz地域	600 → 500 → 200

3 時間を設定する

- 「時間設定ボタン」を押して時間の設定をします。
- 最大設定時間は
500W/400W、600W/500W:30分
200W:99分

10分	10分単位の設定をします。
1分	1分単位の設定をします。
10秒	10秒単位の設定をします。

※時間を設定した後は、再び「レンジ」ボタンを押してもレンジ出力のワット数は変更できません。

4 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し加熱が始まり、残り時間が表示部に表示されます。

5 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間)
加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。



注意

- 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出す
- レンジを使用する際は庫内が空のままで加熱しない
異常温度により、やけど、故障のおそれがあります。



- 出力表示は高周波出力装置(マグネトロン)の出力表示であり、消費電力量の表示ではありません。
実際の消費電力とは異なりますのでご注意ください。
冷凍食品などで特定の出力が当てはまらない場合は、近い出力に合わせてください。
高い出力に合わせた場合は、短めの時間設定で様子を見ながら、あたためを行ってください。

使い方について(つづき)

あたため機能(自動メニュー1あたため/自動メニュー2冷凍あたため)

■ ご飯やおかずを温めるときに使用してください。 ■ 続けて加熱する場合は、ドアを開けて庫内を冷ましてからご使用ください。

■ 一度に加熱できる分量は約100~400g(1~2人分)

※ 飲み物はあたため機能(自動メニュー1/自動メニュー2)で加熱しないでください。突然沸騰してやけどのおそれがあります。



注意

● 飲み物の加熱で使用すると沸騰するおそれがあります。絶対に使用しないでください。

自動メニュー7 飲み物または自動メニュー8 牛乳・酒で加熱してください。

● 100g未満の食品で使用すると発火・発煙のおそれがあります。絶対に使用しないでください。

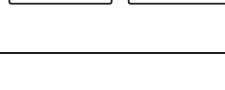
1 ごはん・またはおかずを入れた容器を庫内テーブルプレート中央に置いてドアを閉める

2 「スタートあたため」ボタンを押す

● 「スタートあたため」ボタンを押すと表示部に「自動メニュー1」「仕上がり 中」が表示され庫内灯が点灯します。

● 「スタートあたため」ボタンを2回押すと表示部に「自動メニュー2」「仕上がり 中」が表示され庫内灯が点灯します。

※ 押すごとに切り替わります。



3 仕上がりを調節後、加熱を開始する

● 「V」「^」ボタンを押すと仕上がりを「弱」「中」「強」に調節できます。

● 「仕上がり」を設定してからしばらくすると自動的に加熱を開始します。仕上がり調節せずにした場合も約15秒後、「仕上がり 中」で加熱を開始します。

● 「- = =」の表示が右方向に循環して表示されます。

● 自動メニュー1あたため/自動メニュー2冷凍あたため機能の加熱時間はセンサーが検知した温度で自動制御します。

庫内の食品が適度にあたたまると加熱は終了し、表示部に「0」が点滅表示されます。

※ 加熱が足りない場合は、手動あたため操作(レンジ調理)で様子を見ながら追加で加熱を行ってください。

4 終了音が鳴り加熱が停止します

● 加熱終了15秒前に「ピッ」と音が鳴り加熱が終了すると終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。

※ 取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間)加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

自動メニュー設定

お弁当

1 お弁当を庫内テーブルプレートの中央に置いてドアを閉める

※ 包装しているラップやフタは外し、ゆで卵やアルミケース、調味料などを取り出してください。

2 「お弁当」ボタンを押す

● 「お弁当」ボタンを押すと表示部に「レンジ」「自動メニュー3」「400g」「仕上がり」「中」が表示されます。

※ 「自動メニュー」ボタンから「3」を選択しても設定できます。



3 仕上がりを調節する

● 「V」「^」ボタンを押すと仕上がりを「弱」「中」「強」に調節できます。

4 「スタートあたため」ボタンを押す

● 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し加熱が始まり、残り時間が表示部に表示されます。

弱3:30 中4:00 強4:30 (50Hz/500W) 弱2:00 中2:30 強3:00 (60Hz/600W)



5 終了音が鳴り加熱が停止します

● 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。

※ 取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間)加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

ごはん

1 ごはんを入れた茶碗を庫内テーブルプレート中央に置いてドアを閉める

2 「ごはん」ボタンを押す

● 「ごはん」ボタンを押すと表示部に「レンジ」「自動メニュー4」「150g」「仕上がり」「中」が表示されます。

※ 「自動メニュー」ボタンから「4」を選択しても設定できます。



3 仕上がりを調節する

● 「V」「^」ボタンを押すと仕上がりを「弱」「中」「強」に調節できます。

使い方について(つづき)

4 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し加熱が始まり、残り時間が表示部に表示されます。
弱1:00 中1:30 強2:00 (50Hz/500W 60Hz/600W)



5 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間)加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

飲み物

1 飲み物を入れたコップを庫内テーブルプレートの中央に置いてドアを閉める

- 一度に加熱できる量:1~3杯(1杯:180mlを目安)
- 2杯以上を一度に加熱する場合は分量をそろえてください。
- コップは広口のものを使用してください。8分目程度に入れてください。加熱後は様子を見ながらスプーンでよくかき混ぜてください。

2 「飲み物」ボタンを押す

- 「飲み物」ボタンを押すと表示部に「レンジ」「自動メニュー7」「3分20秒」「仕上がり」「中」が表示されます。
※「自動メニュー」ボタンから「7」を選択しても設定できます。



3 仕上がりを調節する

- 「V」「^」ボタンを押すと仕上がりを「弱」「中」「強」に調節できます。

4 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し加熱が始まり、残り時間が表示部に表示されます。
弱1:50 中3:20 強4:20 (50Hz/500W) 弱1:30 中3:00 強4:00 (60Hz/600W)



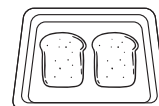
5 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間)加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。
※加熱が足りない場合は、「レンジ調理」機能で手動で加熱してください。

トースト

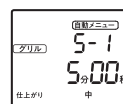
1 角皿を庫内の受け棚にセットして食パンを乗せてドアを閉める

- 2枚焼く場合は右図のように並べて置いてください。
※1回の加熱では片面のみ加熱します。両面を加熱する場合は裏返して再度加熱してください。
※お好みで上下の受け棚にセットしてください。上段の受け棚は焼き色が濃くなります。



2 「トースト」ボタンを押す

- 「トースト」ボタンを押すと表示部に「グリル」「自動メニュー5-1」「5分00秒」「仕上がり」「中」が表示されます。
※「自動メニュー」ボタンから「5-1」を選択しても設定できます。
- 2枚同時に焼く場合はもう一度「トースト」ボタンを押す、または自動メニューボタンから「5-2」を選択してください。表示部に「5-2」「6分00秒」「中」「仕上がり」が表示されます。
※押すごとに切り替わります。



3 仕上がりを調節する

- 「V」「^」ボタンを押すと仕上がりを「弱」「中」「強」に調節できます。

4 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し加熱が始まり、残り時間が表示部に表示されます。
5-1 弱4:30 中5:00 強5:30
5-2 弱5:30 中6:00 強6:30

5 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
※加熱が足りない時は、「グリル機能」の手動で追加加熱してください。
※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間)加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

※加熱終了後は本体内部を冷やすため、しばらくの間ファンが回ります。電源プラグは抜かないでください。故障の原因になります。
※庫内が大変熱くなっていますので食品を取り出す際は十分に気を付けてください。

使い方について(つづき)

お惣菜

1 お惣菜を容器に乗せ、庫内テーブルプレートの中央に置いてドアを閉める

※包装しているラップやフタは外し、ゆで卵やアルミケース、調味料などを取り出してください。

2 「自動メニュー」ボタンを押す

- 「自動メニュー」ボタン「V」「^」を押して「自動メニュー6」を選択します。
「レンジ」「自動メニュー6」「400g」「仕上がり」「中」が表示されます。



3 仕上がりを調節する

- 「V」「^」ボタンを押すと仕上がりを「弱」「中」「強」に調節できます。

4 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し加熱が始まり、残り時間が表示部に表示されます。
弱3:30 中4:00 強4:30 (50Hz/500W) 弱2:00 中2:30 強3:00 (60Hz/600W)



5 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間) 加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

牛乳・酒

1 牛乳または酒を入れた容器を庫内テーブルプレートの中央に置いてドアを閉める

- 一度に加熱できる量: 1~3杯 (1杯: 180ml) を目安
- 2杯以上を一度に加熱する場合は分量をそろえてください。
- コップは広口のものを使用してください。8分目程度に入れてください。加熱後は様子を見ながらスプーンでよくかき混ぜてください。

2 「自動メニュー」ボタンを押す

- 「自動メニュー」ボタン「V」「^」を押して「自動メニュー8」を選択します。
表示部に「レンジ」「自動メニュー8」「3分20秒」「仕上がり」「中」が表示されます。



3 仕上がりを調節する

- 「V」「^」ボタンを押すと仕上がりを「弱」「中」「強」に調節できます。

4 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し加熱が始まり、残り時間が表示部に表示されます。
弱1:50 中3:20 強4:20 (50Hz/500W) 弱1:30 中3:00 強4:00 (60Hz/600W)



5 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
※加熱が足りない時は、「レンジ調理」機能で追加加熱してください。
※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間) 加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

葉野菜

1 葉野菜を容器に乗せ、庫内テーブルプレートの中央に置いてドアを閉める

2 「自動メニュー」ボタンを押す

- 「自動メニュー」ボタン「V」「^」を押して「自動メニュー9」を選択します。
「レンジ」「自動メニュー9」「200g」「仕上がり」「中」が表示されます。



3 仕上がりを調節する

- 「V」「^」ボタンを押すと仕上がりを「弱」「中」「強」に調節できます。

使い方について(つづき)

4 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し加熱が始まり、残り時間が表示部に表示されます。
弱2:30(100g) 中3:00(200g) 強4:30(300g) (50Hz/500W) 弱1:30(100g) 中2:00(200g) 強2:30(300g) (60Hz/600W)



5 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間) 加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

根菜

1 根菜を容器に乗せ、庫内テーブルプレートの中央に置いてドアを閉める

2 「自動メニュー」ボタンを押す

- 「自動メニュー」ボタン「V」「^」を押して「自動メニュー10」を選択します。
「レンジ」「自動メニュー10」「200g」「仕上がり」「中」が表示されます。



3 仕上がりを調節する

- 「V」「^」ボタンを押すと仕上がりを「弱」「中」「強」に調節できます。

4 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し加熱が始まり、残り時間が表示部に表示されます。
弱3:30(100g) 中4:00(200g) 強4:30(300g) (50Hz/500W) 弱3:00(100g) 中3:30(200g) 強4:00(300g) (60Hz/600W)



5 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間) 加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

フライあたため

- フライあたためメニューはレンジ+ヒーターで加熱します。

1 耐熱ガラス容器やシリコン容器を庫内にセットして揚げ物に乗せてドアを閉める

- ※オープン、トースト、グリル使用可能の表記があるもの。

2 「自動メニュー」ボタンを押す

- 「自動メニュー」ボタン「V」「^」を押して「自動メニュー13」を選択します。
「レンジ」「グリル」「自動メニュー13」「5分30秒」「仕上がり」「中」が表示されます。



3 仕上がりを調節する

- 「V」「^」ボタンを押すと仕上がりを「弱」「中」「強」に調節できます。

4 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し表示「グリル」が消灯し30秒間レンジで温めます。30秒経過後に表示の「レンジ」が消灯し「グリル」が点灯して上下ヒーターで加熱が始まり残り時間が表示部に表示されます。
弱:5:00秒 0:30(レンジ)+4:30(グリル)
中:5:30秒 0:30(レンジ)+5:00(グリル)
強:6:00秒 0:30(レンジ)+5:30(グリル)



5 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間) 加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

※加熱終了後は本体内部を冷やすため、しばらくの間ファンが回ります。電源プラグは抜かないでください。故障の原因になります。
※庫内が大変熱くなっていますので食品を取り出す際は十分に気を付けてください。

使い方について(つづき)

オープン機能(予熱あり)

1 庫内に食品がないことを確認する

2 「オープン」ボタンを1回押して予熱の設定をする

- 「オープン」ボタンを1回押すと表示部に「オープン」「予熱 あり」「170℃」が表示されます。
※押すごとに「予熱あり」「予熱なし」が切り替わります。



3 温度を調節する

- 「V」「^」ボタンを押すと以下のように温度を調節できます。
200℃→190℃→180℃→170℃→160℃→150℃→140℃→130℃→120℃→110℃

4 「スタートあたため」ボタンを押して予熱を開始する

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し加熱が始まります。
- 「- =」の表示が右方向に循環して表示されます。

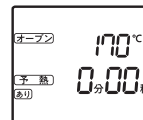


5 終了音が鳴り予熱が完了します

- 表示部の「予熱」「温度表示」が点滅して終了音が流れ予熱が完了します。
※電子音は6秒ごとに鳴ります。

6 ドアを開けて角皿にのせた食品を受け棚にセットしてドアを閉める

- 角皿は受け棚の下段にセットする。お好みにより上段に調整してください。
- 庫内灯が消灯し表示部に「0分00秒」が表示されます。
※庫内が大変熱くなっていますので、角皿をセットする際は十分に気を付けてください。



7 時間を設定する

- 「時間設定ボタン」を押して時間の設定をします。

10分	10分単位の設定をします。
1分	1分単位の設定をします。
10秒	10秒単位の設定をします。
- 設定時間は10秒～99分まで

8 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し加熱が始まり、残り時間が表示部に表示されます。

9 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間) 加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

※予熱時間は設定できません。最大15分で15分で予熱が設定温度に達していない場合は、一度終了し、待機状態になります。再度予熱を開始してください。
※予熱が完了してから15分以上何も操作しないと電子音が鳴り表示部に「0」が点滅表示して待機状態になります。
※加熱終了後は本体内部を冷やすため、しばらくの間ファンが回ります。電源プラグは抜かないでください。
故障の原因になります。
※庫内が大変熱くなっていますので食品を取り出す際は十分に気を付けてください。
※途中でヒーターが切れる場合がありますが自動で庫内の温度調節をしているため故障ではありません。
※オープン機能では上下ヒーターで同時に加熱します。

使い方について(つづき)

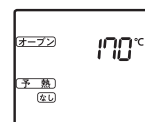
オーブン機能(予熱なし)/発酵機能

1 ドアを開けて角皿にのせた食品を受け棚にセットしてドアを閉める

- 角皿は受け棚の下段にセットする。お好みにより上段に調整してください。

2 「オーブン」ボタンを2回押す

- 「オーブン」ボタンを2回押すと表示部に「オーブン」「予熱なし」「170℃」が表示されます。
※押すごとに「予熱あり」「予熱なし」が切り替わります。

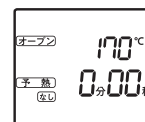


3 温度を調節する

- 「V」「^」ボタンを押すと以下のように温度を調節できます。
200℃→190℃→180℃→170℃→160℃→150℃→140℃→130℃→120℃→110℃→40℃(発酵機能)
- 温度の調節を40℃に設定すると発酵に使用できます。
※発酵はパンなどの生地作りにご使用できます。

4 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと「0分00秒」が表示されます。



5 時間を設定する

- 「時間設定ボタン」を押して時間の設定をします。
 - 設定時間は10秒～99分まで
- | | |
|-----|---------------|
| 10分 | 10分単位の設定をします。 |
| 1分 | 1分単位の設定をします。 |
| 10秒 | 10秒単位の設定をします。 |

6 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し加熱が始まり、残り時間が表示部に表示されます。

7 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間)加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

※加熱終了後は本体内部を冷やすため、しばらくの間ファンが回ります。電源プラグは抜かないでください。
故障の原因になります。
※庫内が大変熱くなっていますので食品を取り出す際は十分に気を付けてください。
※途中でヒーターが切れる場合がありますが自動で庫内の温度調節をしているため故障ではありません。

使い方について(つづき)

グリル機能

1 ドアを開けて角皿にのせた食品を受け棚にセットしてドアを閉める

- 角皿は受け棚の下段にセットする。お好みにより上段に調整してください。

2 「グリル」ボタンを1回押す

- 「グリル」ボタンを1回押すと表示部に「グリル」「0分00秒」が表示されます。



4 時間を設定する

- 「時間設定ボタン」を押して時間の設定をします。
- 設定時間は10秒～99分まで

10分

10分単位の設定をします。

1分

1分単位の設定をします。

10秒

10秒単位の設定をします。

5 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し加熱が始まり、残り時間が表示部に表示されます。

6 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
- ※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間)加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

※加熱終了後は本体内部を冷やすため、しばらくの間ファンが回ります。電源プラグは抜かないでください。故障の原因になります。
※庫内が大変熱くなっていますので食品を取り出す際は十分に気を付けてください。
※途中でヒーターが切れる場合がありますが自動で庫内の温度調節をしているため故障ではありません。
※グリル機能では上下のヒーターで同時に加熱します。

※設定温度は200℃を基準にセンサーで制御されています。

解凍(肉・魚)

- 庫内が冷めた状態で加熱してください。庫内が熱くなっていると上手に解凍できないことがあります。
- 食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- 解凍しかかっている食材は仕上がりにむらがあで、一部が煮えてしまうことがあります。解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。
- 少量の食品(100g未満)は、煮えや変色のおそれがあるので解凍はできません。
- 皿に移し変える場合は平らな皿にキッチンペーパーを敷いた上に食品を置いて解凍してください。

1 食品を庫内テーブルプレート中央に置いてドアを閉める

2 「解凍」ボタンを1回押す

- 「解凍」ボタンを1回押すと表示部に「レンジ」「解凍」「自動メニュー11」「100g」が表示されます。
- ※「自動メニュー」ボタンから「11」を選択しても設定できます。
- ※押すごとに「11 肉・魚」と「12 刺身」が切り変わります。



3 重量を設定する

- 「V」「Λ」ボタンを押す重量を設定できます。

100g(2:00) 200g(4:00) 300g(6:00) 400g(8:00) 500g(9:00) 600g(11:00) (50Hz/60Hz:200W)

4 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し解凍が始まり、残り時間が表示部に表示されます。

5 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
- ※加熱が足りない場合は「レンジ調理」機能(200W)で追加で解凍してください。
- ※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間)加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

使い方について(つづき)

解凍(刺身)

- 庫内が冷めた状態で加熱してください。庫内が熱くなっていると上手に解凍できないことがあります。
- 食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- 解凍しかかっている食材は仕上がりにむらが出て、一部が煮えてしまうことがあります。解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。
- 少量の食品(100g未満)は、煮えや変色のおそれがあるので解凍はできません。
- 皿に移し変える場合は平らな皿にキッチンペーパーを敷いた上に食品を置いて解凍してください。

1 食品を庫内テーブルプレート中央に置いてドアを閉める

2 「解凍」ボタンを2回押す

- 「解凍」ボタンを2回押すと表示部に「レンジ」「解凍」「自動メニュー12」「100g」が表示されます。
※「自動メニュー」ボタンから「12」を選択しても設定できます。
※押すごとに「11 肉・魚」と「12 刺身」が切り変わります。



3 重量を設定する

- 「V」「Λ」ボタンを押す重量を設定できます。
100g(1:30) 200g(2:30) 300g(3:30) 400g(4:30) 500g(5:30) 600g(6:30) (50Hz/60Hz:200W)

4 「スタートあたため」ボタンを押す

- 「スタートあたため」ボタンを押すと庫内灯が点灯し解凍が始まり、残り時間が表示部に表示されます。

5 終了音が鳴り加熱が停止します

- 加熱終了時に終了音が5回鳴り表示部に「0」が点滅し庫内灯が消灯します。ドアを開けて庫内の食品を取り出してください。
※加熱が足りない場合は「レンジ調理」機能(200W)で追加で解凍してください。
※取り忘れがあると、1分ごとにブザー音が鳴ってお知らせします。(5分間)加熱終了5分後に表示部が消灯し電源がOFFになります。

加熱時の注意ポイント

- 密閉されている食品は別の容器に移してから加熱してください。
- お弁当をあたためるときは、必ず液体調味料などを取り外してください。密閉したラップに包まれている場合はラップを外してあたためてください。
- 飲み物やスープなど液体をあたためるときに、沸騰してあふれないようにしてください。



禁止

● 庫内で発火、発煙したときはドアを開けない

- ※ドアをあけると酸素が取り込まれ、発火の恐れがあります。
直ちに動作を止めて、電源プラグを抜き、ドアを閉めたままあわてずに庫内の様子を確認して
マクゼンテクニカルセンターへ連絡してください。



警告

● 芋や栗など皮や殻で覆われている食品は切れ目を入れる

- 殻などが割れて、やけどやケガ、故障の恐れがあります。



注意

● 加熱後の容器の取り出しはふきんなどを使う

- 容器が熱くなっている場合、やけどの恐れがあります。

● ラップするとき、容器にぴったりと食材部分はゆったりと余裕をもっておおう

- 破損の恐れがあります。

● とろみのある食品は加熱しすぎない。

- 庫内から取り出す際に突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります。

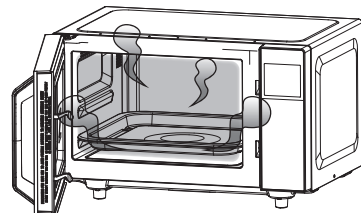
- レンジを使用する際は庫内が空のまま加熱しないでください。



禁止

● 電子レンジ使用時の空焼きについての注意

- 庫内が空のまま加熱しないでください。(食品を入れずに加熱しない)
過熱して火災の原因になります。



使い方について(つづき)

ご使用になる地域によって出力が異なります。操作部の出力表示をご参照ください。➡「各部の名称(10ページ)」「その他(23ページ)」

加熱時間の目安(加熱時間は食材・量・大きさ・調理前の温度により異なります)

※レンジ出力500Wの場合、冷凍を除く。※60Hzの地域でご使用になる場合は出力が100W高くなるため、加熱時間を若干少なめに調節してください。温まり過ぎる場合があります。

●レンジ あたため

	食品名	メニュー名	仕上り	分量	加熱時間 (自動・任意設定)	ラップ
冷蔵	ごはん	ごはん・自動メニュー4	弱	1杯(150g)	1分	×
			中		1分30秒	×
			強		2分	×
	チャーハン・ピラフ	レンジ	—	1皿(300g)	2分40秒	×
	パン(バターロール)	レンジ	—	1個(30g)	10秒	×
	みそ汁	レンジ	—	1人分(200ml)	2分	×
	カレー・シチュー	レンジ	—	300g	3分40秒	○
	スープ	レンジ	—	200ml	2分10秒	○
	焼き魚	レンジ	—	1切(90g)	1分	○
	ハンバーグ	レンジ	—	1個(100g)	1分30秒	×
	てんぷら	レンジ	—	100g	1分	×
	とんかつ	レンジ	—	100g	1分10秒	×
	肉まん	レンジ	—	1個(100g)	1分	○
	焼きそば	レンジ	—	1人分(200g)	2分	×
	お惣菜	自動メニュー6	弱	400g	3分30秒	×
			中		4分	×
			強		4分30秒	×
	煮魚	レンジ	—	1切(90g)	2分	○
	お弁当	お弁当・自動メニュー3	弱	400g	3分30秒	○
			中		4分	○
			強		4分30秒	○
冷凍	丼もの(1人分)	レンジ	—	300g	3分	○
	ごはん	レンジ	—	1杯(150g)	2分30秒	○
	チャーハン・ピラフ	レンジ	—	1皿(300g)	5分	○
	カレー・シチュー	レンジ	—	300g	8分	○
	ハンバーグ	レンジ	—	1個(100g)	2分30秒	○
	肉まん	レンジ	—	1個(100g)	1分40秒	○
	しゅうまい(大)	レンジ	—	4個(160g)	3分	○

●解凍・半解凍 冷凍の肉、さしみ

食品名	メニュー名	仕上り	分量	加熱時間(解凍)	ラップ
肉・魚	解凍・ 自動メニュー11	—	100g	2分	○
		—	200g	4分	○
		—	300g	6分	○
		—	400g	8分	○
		—	500g	9分	○
		—	600g	11分	○
刺身	解凍・ 自動メニュー12	—	100g	1分30秒	○
		—	200g	2分30秒	○
		—	300g	3分30秒	○
		—	400g	4分30秒	○
		—	500g	5分30秒	○
		—	600g	6分30秒	○

※解凍メニューの加熱時間はあらかじめ設定されています。

■ラップをするもの

・煮物、蒸し物、汁物、調理済み冷凍食品全般など、しっとり仕上げたい場合
・具の多いスープなど、はじける恐れのあるもの
・ラップは少しゆとりをもたせてかぶせてください。
※ラップは容器をゆったりとおおい、食品・食材に添わせず。余裕がないと破れることがあります。
※油分の多い食品を加熱するときは、ラップの耐熱温度を超えることがあるので、注意してください。

■ラップをしないもの

・ごはんもの、揚げ物、焼き物、炒め物など、水分を飛ばし気味にしたい場合

●レンジ 飲み物

食品名	メニュー名	仕上り	分量	加熱時間 (自動・任意設定)	ラップ
コーヒー(常温)	飲み物・自動メニュー7	弱	1杯(180ml)	1分50秒	×
		中	2杯(360ml)	3分20秒	×
		強	3杯(540ml)	4分20秒	×
牛乳・お酒(冷蔵)	自動メニュー8	弱	1杯(180ml)	1分50秒	×
		中	2杯(360ml)	3分20秒	×
		強	3杯(540ml)	4分20秒	×
お茶(冷蔵)	飲み物・自動メニュー7	中	1杯(150ml)	1分30秒	×

●レンジ 温野菜

食品名	メニュー名	仕上り	分量	加熱時間 (自動・任意設定)	ラップ
葉野菜・キャベツ・白菜 (常温)	自動メニュー9	弱	100g	2分30秒	○
		中	200g	3分	○
		強	300g	4分30秒	○
根菜 じゃがいも(常温)	自動メニュー10	弱	1個(100g)	3分30秒	○
		中	2個(200g)	4分	○
		強	3個(300g)	4分30秒	○
さつまいも(常温)	レンジ	—	1本(200g)	4分	○
里いも(常温)	レンジ	—	100g	2分30秒	○
にんじん(常温)	レンジ	—	100g	2分30秒	○
なす(常温)	レンジ	—	100g	1分40秒	○
かぼちゃ(常温)	レンジ	—	100g	2分40秒	○
ブロッコリー(常温)	レンジ	—	100g	1分30秒	○
れんこん(常温)	レンジ	—	100g	2分30秒	○

●オーブン

食品名	メニュー名	仕上り	分量	加熱時間(自動・任意設定)
フライ温め	自動メニュー13	弱	200g	5分
		中		5分30秒
		強		6分00秒
シフォンケーキ	オーブン	—	17cm	170℃予熱有25分
ローストビーフ	オーブン	—	500g	130℃予熱有25分(庫内で粗熱)20分
鮭のホイル焼き	オーブン	—	110g	200℃予熱有26分
ハンバーグ	オーブン	—	480g(120g×4個)	200℃予熱有13分
市販ピザ	オーブン	—	220g	200℃予熱有10分

※中まで火が通らず生焼けの場合、料理の種類によっては追加で加熱を行ってください。

●トースト

食品名	メニュー名	仕上り	分量	加熱時間(自動・任意設定)
食パン	トースト・ 自動メニュー5-1	弱	1枚	4分30秒(片面)
		中		5分(片面)
		強		5分30秒(片面)
	トースト・ 自動メニュー5-2	弱	2枚	5分30秒(片面)
		中		6分(片面)
		強		6分30秒(片面)

●グリル

食品名	メニュー名	仕上り	分量	加熱時間(自動・任意設定)
さば焼き	グリル	—	300g 2尾	身を上で10分 皮面5分
グラタン	グリル	—	200g	15分

※中まで火が通らず生焼けの場合、料理の種類によっては追加で加熱を行ってください。

使い方について(つづき)

⚠ 注意

- 飲み物や油脂の多い食品は電子レンジのマイクロ波で加熱した場合に遅れて突沸して噴き出すことがあります。
(突沸注意) けがややけどの原因となりますので、容器の取り扱いや取り出しの際は注意してください。
- 加熱前、加熱後はかき混ぜてください。
- 加熱時間は目安です。分量や状態により加熱時間は異なり、必要以上に加熱すると焦げたり、発煙・発火の恐れがあります。様子を見ながら加熱してください。
- 野菜を洗った後の水分はそのままラップをしてください。
- 温野菜は加熱後、庫内から取り出しラップをしたまま5分くらい蒸らしてください。
- 市販の冷凍食品はパッケージに記載の加熱時間・出力を参考にしてください。
- いか、たらこ、ウィンナーなど、皮で覆われている食材は、加熱するとはじけることがあるため、皮をむく、切れ目を入れる、穴をあけるなどしてください。
- あんまん等は、先にあんが熱くなり、3分以上(冷凍品は4分以上)加熱すると発煙・発火の恐れがあります。
- にんじん、じゃがいもなど水分の少ない根菜は少量だけ加熱すると火花が出ることがあります。大きめの容器に野菜が浸かるくらいの水を入れ、ラップをして加熱してください。
- コンビニのお弁当をあたためるときは耐熱の容器(PP・PPFなど)であるか確認してください。ポリスチレンなどスチロール系の容器は熱により変形する場合があります。
- 300g以上の塊肉をそのまま解凍すると半解凍になる場合があります。
- トースト、オープン、グリルメニューをご使用の際は加熱終了後に庫内が大変熱くなっていますので食品を取り出すときは十分に気をつけてください。
- 普段からオープンレンジの周囲には、可燃物を置かないようにする。
- 調理中はその場を離れずに、食品の様子を見ながら加熱する。
- さつまいもや中華まんなどは、長時間加熱すると爆発的に燃焼する危険性があります。
加熱時間を長めにせず取扱説明書の加熱時間の目安(→P20)を参考にしてください。
- 殻付きの卵や1個丸ごとのゆで卵は電子レンジで加熱しない。また、その卵は、マイクロ波での加熱を終了した後でも破裂の危険があるため、時間をおいて様子を見てから使用してください。

❗ 指示

- ベビーフードや介護食、乳児用のミルクを温める時は、加熱後、かき混ぜてから温度を確認してください。
やけどの恐れがあります。(かき混ぜて温度を均一にする)
- トースト、オープン、グリルメニューをご使用の際は、加熱終了後に庫内が大変熱くなっていますので、食品を取り出す時は十分に気をつけてください。

お手入れについて

お手入れの方法

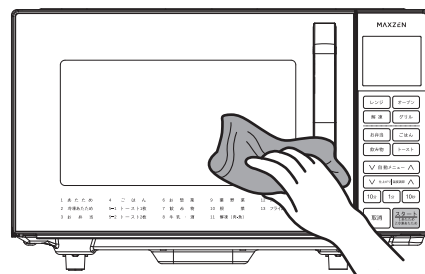
お手入れ前に、必ず電源プラグを抜く

やけどの恐れがあるため、製品が冷めてからお手入れを行ってください。

■ 本体外側・ドア

やわらかい布でからぶきをする

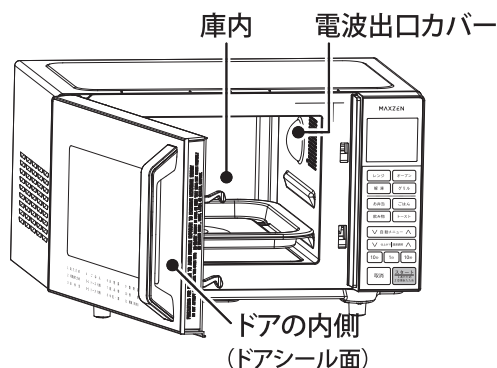
汚れがひどいときは、ぬるま湯 または 中性洗剤を布に含ませ拭き取ってください。中性洗剤を使用する場合は、かたく絞ったぬれ布きんで拭き取ります。



■ 庫内・ドアの内側 (ドアシール面を含む)

よく絞ったふきんで拭く

食品カスや汚れなど付着した状態で放置すると、焦げたり燃えたりすることがありますので、しっかりと拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使い、汚れを拭き取ってください。オープンレンジの庫内表面の劣化がオープンレンジの寿命に悪影響を及ぼし、危険な状態となる可能性があるため、庫内は、清潔な状態に保つことが必要です。



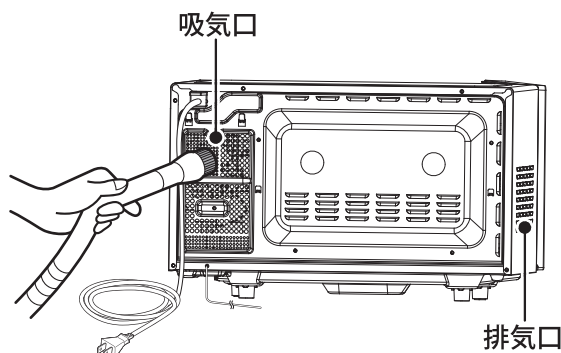
注意

- 電波出口カバーは汚れがついたままにしない
火災の原因になります。

■ 吸気口・排気口

掃除機・乾いた布でホコリを取り除く

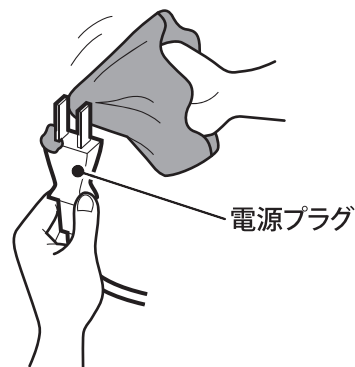
月に1度はお手入れをしてください、ホコリがたまっていると、故障の原因となったり、機能低下し十分に性能を発揮できなくなります。掃除機や乾いた布などで定期的に取り除いてください。



■ 電源プラグ

乾いた布で拭く

乾いた布で拭き取ってください。
濡れた手で 電源プラグを抜き差ししないでください。



■ 角皿 (水洗いできます)

本体から外して水や薄めた台所用中性洗剤で洗い、再度ご使用の場合は、十分に乾いたふきんで水気を拭き取ってからご使用ください。

その他(つづき)

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状態	原因	対処の仕方
電源プラグをコンセントに差し込んでも、何も表示しない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	電源ブレーカーが入っていない	安全を確認のうえ、電源ブレーカーを入れてください。
	自動電源オフ機能が働いている	ドアを開けると電源が入り「0」が表示されます。ドアを閉めてしばらくすると自動的に電源が「OFF」になります。
	ドアを閉じたまま電源プラグをコンセントに差し込んでも電源は入りません	一度ドアを開閉してください。 電源が入り、表示部に「0」が点灯します。
加熱中に電源が切れる (ブレーカーが切れる) 食品があたたまらない	使用できる電気の量を超えている	他の電気製品のスイッチを切る、別のブレーカーの回路に接続するなどして、回路の容量を超えないようにしてください。
	食品がアルミホイルなどでおおわれている	食品をアルミホイルなどでおおくと、加熱されません。
	食品を入れすぎたり、食品が庫内中央に置かれていない	食品の量を減らし、庫内中央に食品が重ならないように置いてください。
	加熱をくり返し行ったり、連続して加熱した	電気部品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。故障ではありません。
加熱中に「ブーン」という音が大きくなったり小さくなったりする	加熱をコントロールしている	冷却ファンや製品内部のスイッチの切替音です。加熱終了後も冷却ファンが回る場合があります。ファンが止まるまで電源プラグを抜かないでください。故障ではありません。そのまま使用してください。
加熱中に「カチッ」という音がする		
加熱中に「ジー」という音がする	レンジの動作音です。	故障ではありません。そのまま使用してください。
火花が出る	アルミホイルを使用している	アルミホイルは使用しないでください。(→P6)
	金銀模様のある容器を使用している	金銀模様のある容器は使用しないでください。(→P6)
	庫内に食品かすなどが付着している	庫内壁面をお手入れしてください。(→P22)
加熱中、ドアに水滴がついたり落ちたりする ドアがくもる	食品から出た水蒸気がドアに結露する	ふきんなどで拭き取ってください。
冷凍食品がうまく解凍できない	冷凍食品指定の出力がない 出力があてはまらない	指定に近い出力に合わせ、高い出力に合わせた場合は、短めの時間設定で様子を見ながら、あたためを行ってください。
加熱中にヒーターがついたり消えたりする	メニューによりヒーター出力を調整しています。	故障ではありません。そのまま使用してください。
加熱中に庫内から「ボコン」と音がしたり、きしむような音がしたりする	ヒーター(オープン/グリル)加熱しているとき、熱で庫内壁面が膨張すると音がする場合があります。	故障ではありません。そのまま使用してください。
煙が出たり異臭がする	庫内やドアに食品カスや煮汁、油が付いている	庫内やドアをお手入れして食品カスや油汚れをきれいに拭き取ってください。(→P22)
	空焼きをしていない	空焼きを行ってください。(→P9)
	庫内が高温になっている	庫内が高温になると、吸排気口から煙やニオイが出ることがあります。窓を開ける、換気扇を回すなど換気を行ってください。

それでも解決できないときは、お買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでお問い合わせください。



警告

● ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

火災・感電・けがの原因になります。

その他(つづき)

仕様

型番		MJMO16GZ01F-WH/BK	
電圧		AC100V	
電源周波数		50Hz	60Hz
電子レンジ	定格消費電力	980W	1280W
	定格高周波出力	500W	650W
	発振周波数	2450MHz	
グリル	定格消費電力	1200W	
	ヒーター出力	上ヒーター:850W 下ヒーター:350W	
オープン	定格消費電力	1200W	
	ヒーター出力	上ヒーター:850W 下ヒーター:350W	
外形寸法		幅455 × 奥行367 × 高さ282 mm (電源コード部以外の突起部含む)	
加熱室の有効寸法		幅297 × 奥行284 × 高さ180 mm	
庫内総容量		16L	
製品質量		約13.4kg	
電源コードの長さ		約1.4m	
区分名		B	
電子レンジ機能の年間消費電力量		62.2kWh／年 (50/60Hz)	
オープン機能の年間消費電力量		11.2kWh／年 (50/60Hz)	
年間待機時消費電力量		0.0kWh／年 (50/60Hz)	
年間消費電力量		73.4kWh／年 (50/60Hz)	

※1 庫内総容量とは、JISの判定基準にもとづき算出された容量です。

※2 区分名は、家庭用品品質表示法および省エネ法にもとづき、機能、加熱方式、庫内容量の違いで分かれています。

※3 年間消費電力量は、省エネ法特定機器「電子レンジ」測定法により測定した数値です。実際に使用する年間消費電力量は、周囲環境・使用回数・使用時間・食材の量によって左右されます。

コンセントに電源プラグを接続して使用していない状態(表示部が消灯)の消費電力は0Wです。

※4 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

修理やサービスのご依頼をいただく前に

次の表示が表示部に出たときは、エラー内容を確認してください。

異常がある場合は使用を中止し、故障や事故防止のため、必ず販売店またはマクスゼン テクニカルセンターにご相談ください(→P26)

■ エラー表示(エラー発生時はブザーが鳴った後に、以下のエラー表示が表示部に表示されます。)

表示部	原因	対処の仕方
E01	庫内温度が高温になっています。	「取り消し」ボタンを押して表示部が「0」になったら、ドアを開けて庫内温度を下げてからご使用ください。
E02	製品が故障している場合があります。	「取り消し」ボタンを押してもエラー表示が消えず動作しない場合はご使用を中止して、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはマクスゼン テクニカルセンターへご連絡ください。
E03		
FAIL		

ご利用前に

使い方について

お手入れについて

その他

アフターサービス

基本的な取扱い方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページ上にも情報を掲載しておりますのでご覧ください。

www.maxzen.jp

故障と思われる場合のご相談について

この取扱説明書内にあります「故障かな?と思ったら」の内容や上記ホームページをチェックしても問題が解決できない場合、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター

TEL.0570-099-455

mail: mtc@maxzen.jp

受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日・夏季休業期間・年末年始等を除く)

- お客様からご提供いただいた個人情報は修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用します。
- 利用目的の範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供することがあります。

修理について

当社では原則的に出張修理を行っておりません。
センドバック修理となっておりますので 予めご了承ください。

部品について

修理のために 取り外した部品は、特段のお申し出がない限り、当社で引き取らせて頂きます。また、修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

- 保証期間はご購入日から1年間です。保証対象は機器本体のみです。
(保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください)
- 保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎている時はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターが修理をさせていただきます。

保証期間が過ぎているとき

修理をすれば使用できると思われる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金について

修理料金は、技術料・部品代・製品の送料などで構成されています。当社では原則的に出張修理は行っておりません。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
送料	製品を修理会社まで運搬するための費用です。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品は 製造打ち切り後、8年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。



愛情点検

長年ご使用のオープンレンジの点検をぜひ!

ご使用の際
このような症状は
ありませんか?

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い
- 電源コードに深い傷や変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 運転中に異常な音や振動がする
- 製品本体に触れるとビリビリ電気を感ずる
- その他異常や故障がある

ご使用
中 止

故障や事故防止のため
「取消」ボタンを押してから
電源プラグを抜いて、必ず
販売店にご相談ください。

オープンレンジ 保証書

製品名	オープンレンジ	ご購入履歴を印刷していただき本書と一緒に保管してください 保証書のお買い上げ日については ネットご購入時は商品出荷日となります 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください
製品型番	MJMO16GZ01F-WH/BK	
保証期間	お買い上げ日より 1 年間	
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
お名前		販売店
ご住所		
電話番号		

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

上記「保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効となりません。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品等で無料依頼ができない場合には、マクスゼンテクニカルセンターまでご相談ください。また、保証書には、ご購入履歴を印刷していただき一緒にご提示ください。
- 保証期間内でも、次のような場合には有料修理になります。

- ・使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・お買い上げ後の落下、移動等運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
- ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷等の天災地変による故障や損傷。
- ・一般家庭用以外での業務用に使われた場合（本製品は一般家庭用であり業務用ではありません）
- ・指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
- ・本書の提示がない場合。
- ・本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入がない、又は字句を書き換えられた場合。
- ・不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
- ・車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
- ・オークションで落札された商品の場合。
- ・離島又は離島に準ずる遠隔地への引取修理を行う場合の送料。

- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This Warranty is valid only in japan.）
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控え）は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

本書に記載の内容とは異なる方法や目的で使用されますと、保証の対象外となります。
また、生じた損害についても弊社は一切責任を負いません。

MAXZEN

○本製品には、保証書が付いています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入なきものは、
無効となりますので必ずご確認ください。

○本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。

○本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。

○本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。

●乱丁本・落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター
TEL.0570-099-455

受付時間 9:00-17:00 (土・日・祝日・夏季休業期間・年末年始等を除く)

mail : mtc@maxzen.jp

Copyright ©MAXZEN. Inc ALL Rights Reserved.